

もくじ

P1 いわて親子フェスティバル in アイーナ

P2 第16回「わたしの主張岩手県大会」

P3 「いわて家庭の日」

絵画・ポスターコンクール入賞作品

「いわて家庭の日」絵画・ポスター作品展の案内

P4 いわて親子フェスティバル in アイーナ

フォーラム家庭教育

観武ヶ原まつり



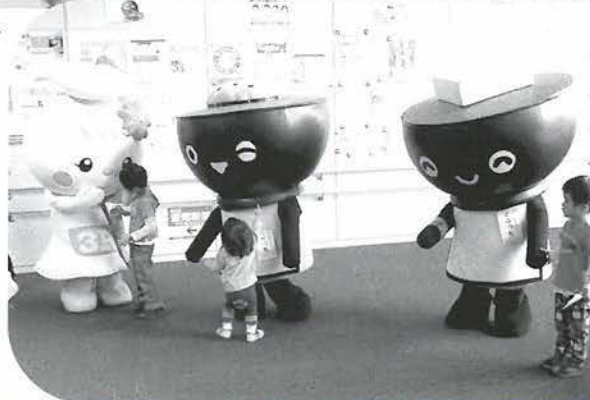
青少年 いわて 2014.10

「いわて親子フェスティバル」 を開催しました。



手形アート「みんなの手形で大きな木を作ろう」

10月5日(日)、アイーナにて『いわて親子フェスティバル in アイーナ』を開催し、延べ2,200人が“一日中アイーナで遊ぼう!”を体感しました。「くぼたまさと工作ショウ・工作教室」には、たくさんの親子連れが参加しておおにぎわい。各フロアではわんこきょうだい等のキャラクターと一緒に写真を撮る親子連れも目立ちました。子どもたちは、「ペットボトルボーリング」や「わりばし鉄砲」で賞品のお菓子を狙い、「遊びリンピック」では、金メダルを狙って、お父さん、お母さんと一緒にいっぱい楽しんだ一日でした。(P4に写真を掲載しました)



毎月第3日曜日は いわて家庭の日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
「いわて家庭の日」を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部



2014(平成26)年
10月30日発行
通算65号

発行：公益社団法人岩手県青少年育成県民会議 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1 アイーナ6F

TEL：019-681-9077 / FAX：019-681-9078 E-mail：ipayd@cyber.ocn.ne.jp

青少年活動交流センター TEL：019-606-1763 / FAX：019-606-1765 E-mail：ya-center@aaina.jp

第16回「わたしの主張岩手県大会」 最優秀賞に渡邊美卯さん(岩大附中3年)

次代を担う中学生による「第16回わたしの主張岩手県大会」が、9月18日(木) 雫石町の野菊ホールで開催され、県内各地区の代表者18名が、未来に向けての夢や希望、日常生活で感じたことなど、それぞれの思いを熱心に発表しました。

大会の最優秀賞には、岩手大学教育学部附属中学校3年渡邊美卯さん、ほかに優秀賞2名、優良賞3名が選ばれました。



アトラクションは雫石中学校生徒による「応援披露」



県大会最優秀賞

「一言の重さ」

岩手大学教育学部附属中学校3年

わた なべ み う
渡 邊 美 卯

「マタオタヨリシマス」その言葉を初めて見た時、私はハッとしてしました。どこでも使われているような言葉かもしれない。ですがこの言葉は戦時中父から幼い息子に宛てた手紙の中のもので。今よりもずっとずっと想いの込もったものなのです。

私は吹奏楽部に所属し様々な曲を演奏しています。今年はコンクール曲を昨年の課題曲作曲者である白岩優拓さんに作曲していただきました。題名は、「沈黙の海」。第2次世界大戦を題材として作られた曲です。とても難しい題材だったのでイメージをつかむため部、個人で戦争について学習しました。

学習を進めるうちに今まで知らなかった様々な戦争の形を知りました。その中で私は遺書、手紙や日記など戦時中の言葉に大変興味を持ちました。調べるだけでなく実際に見てみたい、と考えた私は盛岡手紙館にも足を運びました。

そこで見た実際の手紙は不思議な力を持っています。戦時中は兵士と家の人との手紙は検閲され不適切な表現は削除されていました。そのため例えば最後の手紙でさえ思うように書けません。だからこそ一つの言葉を吟味しながら多くの想いを込めていたのです。手紙館には数人の人の手紙が展示されていました。その中でも私は駒井光男さんの手紙が印象に残っています。戦時中、派遣先のタイから幼い我が子に宛てた手紙です。読みやすいよう片仮名で書かれている手紙は子供が喜ぶような内容となっています。例えばタイにいる動物の話や子供の近況に関する光男さんの思いだったり。終始明るい口調で書かれている手紙にはマイナスの言葉は一つも使われていません。もうすぐ夏休み、という時にはこんな手紙が送られていました。「もうすぐ夏休みです

ね。今年は盛岡のすずしいところでうんと体を丈夫にしてください。またお便りします」何気ない言葉に思えますが私はなんてきれいな言葉だろうと感じました。会いたいののに会いたいと書けないもどかしさ。そして何より子供への愛情。「またお便りします」、今とは違う重みのその一言に一体どれだけの想いがつまっているのか考えるととても切なくなりました。

一方現代の言葉はどうでしょう。ツイッター、ラインなどのSNSが発達し、メールや電話などいつでもどこでも言葉が交わされています。話したい、と思った時すぐ自分の感情を簡単に表現できるそれらは便利です。しかし簡単に表現できるがゆえに自分の発した言葉を相手がどう受け止めるのか考えることなく使っている場面も少なくありません。戦時中なら、と考えていたらきりがないのかもしれませんが。それでも本来の言葉の意味を理解していたなら相手に投げかける事のできない言葉もあるはずですよ。

様々なツールが発達した事で誰かと言葉を交わす事はとても簡単になりました。しかしその言葉によってつながれた関係に本当の意味はあるのでしょうか。私は無いと思います。言葉とは自分の思いと相手の心をつなぐものであるはずですよ。例えばそれがたった一言であったとしても自分の心に向きあい相手の心を思いやった言葉であればそれは人と人との心をつなぐものだとは私は思うのです。

マタオタヨリシマス、かつて光男さんが残したような心と心をつなぐ言葉がこの世界にあふれてほしいと思います。

(渡邊美卯さんは、11月9日(日)に東京都で開催される「少年の主張全国大会」に、北海道・東北ブロック代表として出場することが決定しました。)

最優秀賞を除く、県大会入賞者は次のとおりです。

【優秀賞】

「私と地域をつなぐもの」	盛岡市立乙部中学校3年	藤村 貴子さん
「和を背負う」	平泉町立平泉中学校3年	千田 和輝さん

【優良賞】

「今、私たちにできること」	北上市立北上中学校3年	菊池 佳音さん
「勇気を持って伝えよう」	一関市立室根中学校3年	佐藤 結人さん
「兄が教えてくれたこと」	田野畑村立田野畑中学校3年	金澤 久実さん

いのち輝く みんなの未来

11月は『子ども・若者育成支援強調月間』です。

平成26年度
いわて家庭の日
絵画・ポスターコンクール
入賞作品

絵画・ポスターコンクールは、県民会議が主唱する「いわて家庭の日」の啓発運動の一環として行っています。今年も県内各地の学校から201作品の応募がありました。選考委員による選考の結果、最優秀作品をはじめ13作品が入賞となりました。



【児童の部】最優秀賞

「家族そろって」

北上市立黒沢尻北小学校 4年
内田 のんさん

【生徒の部】最優秀賞

「クッキング、家ーィ!!」

釜石市立甲子中学校 1年
高木 悠さん



【児童の部】優秀賞

「ずっと一緒」

一関市立本寺小学校 5年
槻山 那緒さん



【児童の部】優秀賞

「楽しかったたんじょう会」

北上市立江釣子小学校 4年
八重樫 怜さん



【生徒の部】優秀賞

「夏の夜のひととき」

北上市立北上中学校 1年
高畠 優花さん

【児童の部】優良賞

「家族でお花見楽しいな」
「お母さんとギョーザづくり」
「なかよし」
「かそくでキャンプ」
「家族みんなの思い出」

北上市立江釣子小学校 4年
大槌町立大槌小学校 5年
北上市立黒沢尻北小学校 6年
二戸市立金田一小学校 2年
二戸市立金田一小学校 6年

相川さくらさん
永井 瑚夏さん
来内 日愛さん
大沼 駿作さん
五日市彩佳さん

【生徒の部】優良賞

「今年はどこに行こうかな。」
「大切な日」

大船渡市立綾里中学校 3年
紫波町立紫波第一中学校 1年

菅生 円香さん
漆田真衣子さん

【選考委員特別賞】

「温泉、気持ちよかったよ」

県立一関清明支援学校千厩分教室 中学部 1年 渡邊 龍翠さん

入賞作品と講評は、ホームページに掲載しております。http://www.aiina.jp/seishounen/family/fami_pic2.html



作品展のお知らせ

絵画・ポスターコンクール作品展 in 北上

11月16日(日) 午前11時から午後3時まで
北上市民交流プラザ

さくら野百貨店ツインモールプラザ西館 2階

いわて親子フェスティバル in アイーナ

手づくりコマに挑戦！うまく回せるかな？



10月5日のアイーナは、たくさんの家族と子どもたちの笑顔がいっぱいでした。

大槌町の防災戦隊ホウライオーの隊がアイーナで大暴れ！紙飛行機でシンドロームをやっつけろ！

大槌町青年団協議会



道の駅にうーべり

県立盛岡第二高校「マンドリン・ギター部」



バツリー村 木塚古恵一郎市長
お菓子作り体験！

エコロちゃんといっしょ！

おまけ合わせ、目指せ金メダル！

体験の風をおこそう

～子ども・家庭・地域をつなぐ子育てを目指して～

「いわて親子・家庭フォーラム」を開催しました。



第2分科会「食育について」

講師：県立大船渡病院小児科医長 森山秀徳氏

8月24日（日）、住田町農林会館にて、フォーラムを開催しました。沿岸南部5市町の教育関係者、PTA会員等、120名が集まり、分科会とその後の全体会を通じて、地域全体で子育てを行う機運を醸成する機会となりました。「しつけ」、「食育」、「情報教育」、「反抗期や思春期の子育て」をテーマにした4つの分科会では、講師と参加者との活発な意見交換も行われ、参加者にとってあらためて子育てについて学ぶ有意義な一日となりました。



「観武ヶ原まつり」は、今年も盛況でした。

9月7日（日）、第23回「観武ヶ原まつり」が岩手県青少年会館隣接地で、地域の子どもたちが大勢参加し開催されました。青少年会館入居団体が中心となり、餅まき・餅つき、ステージ発表、バザー、抽選会等が行われ、子どもたちの歓声が1日中溢れたおまつりとなりました。県民会議は今年も『かき氷店』をボランティアらと出店し、好天にも恵まれ大盛況、完売となりました。



高校生ボランティアが活躍しました。

頑張る「いわての青少年」を応援します！



2016

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

希望郷 いわて 国体 希望郷 いわて 大会
第71回国民体育大会 第16回全国障害者スポーツ大会